さくら会だより

SAKURA KAI

＊さくら会のマーク
重なりあう花びらは、人と人とが互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第52号　2019年７月発行　社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井５－１９－１
☎(03)5753−3900(代)･FAX(03)5753−3955
ホームページ：http://www.sakurakai.jp/

ケアセンター南大井 老健在宅強化型への取り組みについて

平成30年度介護報酬改定により、介護老人保健施設の報酬体系が在宅支援・在宅復帰機能に応じて5類型に分類されました。（別表1）

ケアセンター南大井（入所サービス）は、厚生労働省が定める「在宅強化型」の要件を満たしたため、令和元年6月1日より、「加算型老健」から「在宅強化型老健」へ移行し運営を開始しております。

在宅強化型老健としての取組みとして、特に「入所前後訪問」と「退所前後訪問」に注力しています。主にリハビリ職員や介護支援専門員等がご入所者のご自宅を訪問し、ご本人の在宅での生活状況を確認したり、退所後の生活がより快適に、安全に過ごせるための具体的なアドバイスをしています。訪問することで、ご自宅の状況・課題の具体化や、住環境などの情報を職員間で共有し、効率的なリハビリやケアにつながっています。

また、退所後訪問では、ご家族から『退所後もこのように気にかけてもらえるのはありがたい』との言葉をいただき、少なからず皆様のお役に立てていると自負しています。

今後も「在宅復帰を支援する施設」という介護老人保健施設本来の役割を果たすために、リハビリ職員体制の充実・多職種間の連携を図り、より質の高い施設サービスの提供を目指し研鑽してまいります。

質問やご意見などございましたら、お気軽にお寄せください。

利用者・家族との相談

要件（抜粋）＼5つの類型	超強化型 在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅱ）	在宅強化型	加算型 在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）	基本型	その他型（左記以外）
在宅復帰・在宅療養支援等指標（最高値：90）	70以上	60以上	40以上	20以上	左記の要件を満たさない
退所時指導等	要件あり	要件あり	要件あり	要件あり	
リハビリテーションマネジメント	要件あり	要件あり	要件あり	要件あり	
地域貢献活動	要件あり	要件あり	要件あり	要件なし	
充実したリハ	要件あり	要件あり	要件なし	要件なし	

別表１

環境に合わせたリハビリを実施するため、段差の高さや手すりの位置などを確認

林町住宅ロコモ度測定会

品川区立大井林町高齢者住宅では4月21日に関東学院大学栄養学部から依頼を受け、食事提供を行っていないサービス付き高齢者向け住宅での食生活と身体状況等の関係性について調査・研究を行うため、ご入居者を対象とした、ロコモ度測定会を実施しました。

当日は大学の准教授と学生16名、理学療法士2名立ち会いのもと測定を行い、28名のご入居者が参加されました。

ご入居者自身が健康維持と食事の質に対する意識を高める良い機会になりました。

下肢筋力を調べる
立ち上がりテスト

歩幅を調べる２ステップテスト

体成分分析ができる
インボディー

ロコモ…ロコモティブシンドローム（運動機能症候群）の略語　関節や筋肉等の運動器の障害により要介護になるリスクの高い状態になることをいいます。

家族会・介護者教室の実施

南大井在宅サービスセンターでは、3月23日（土）に介護者教室・家族会を開催しました。当日はあいにくの雨でしたが、22名の方の参加がありました。

一部の介護者教室では、「肩こり予防とリラクゼーション」をテーマに、ケアセンター南大井・伊藤滋唯理学療法士が講義を行いました。

肩こりの原因や疾患からくる危険な肩こりについて説明し、最後に肩こり予防の運動をおこないました。約50分という短い時間ではありましたが、楽しくかつ分かりやすい内容で、参加者からは、「肩が楽になった。」「体操を是非取り入れていきたい」等たくさんの感想を頂きました。

二部の家族会では、日頃の通所サービスの活動をプロジェクターの映像等を使用して説明しました。活動風景を見られたご家族から「あら、お母さん楽しそうにしてるわ」とか「生き生きと笑っている」等の声を頂きました。その後、3グループに分かれ、日頃介護している中での喜びや悩みをご家族同士で共有することができました。介護の話に共感された参加者から「色々な家族の話が聞けて良かった。」とか「皆も同じように大変な思いをしているのがわかって励みになる。」等の感想を頂きました。最後にはお互いに励まし合い、これからも無理しないようにがんばっていきますと、気持ちを新たにして帰られました。

今後もご家族同士の交流の場や勉強会を通してご支援をさせて頂きます。

お茶菓子を召し上がりながら和気あいあいと談笑されていました。

皆様熱心にメモしたり質問をされていました。

さくら未来プロジェクト最優秀賞受賞

2月2日（土）、品川区役所にて品川福祉保健従事者実践・研究発表会が開催されました。この発表会は品川介護福祉専門学校主催により品川区の福祉保健等の分野で働く職員の専門的知識や技術の向上等、区民の福祉に寄与することを目的に平成27年2月から行われているものです。

さくら会では職員を代表して各部署の係長・主任6名で構成する『さくら未来プロジェクトチーム』が約2年間に渡る、職員採用と定着に関する取り組みを発表しました。同じような課題に対する取り組みとして、IT機器の導入みなどが注目される中、人に着目し、職員が働きやすく、職員同士の交流や居心地の良い環境を考え、進めて来たことが評価され、12組演題の中から、最優秀賞に選ばれました。引き続き、メンバー一丸となって取り組みを続けていきます。

♪発表に至るまでの努力が実を結びました♪

当日は100名近くの方が来場されました。

本格的な音楽を地域の方と楽しむ

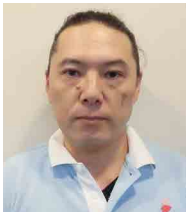
～大井林町倶楽部～

3月の家族会は、音楽ボランティアの方にお越し頂き、演奏会を開催しました。今回は初の試みとして、運営推進会議に参加していただいている委員の皆さまや東大井林町会役員の皆さまにもお声掛けをしました。当日は20人近くの参加者で、ボランティアの方がピアノとヴァイオリンで奏でる懐かしい楽曲、「富士の山」を皆様と合唱しました。

そして、「情熱大陸」、「チャルダーシュ」、「リベルタンゴ」、「蘇州夜曲」など華麗なクラッシック音楽を「陽なたぼっこ」の空間で、鑑賞する事ができました。

今後も地域の方が気軽に立ち寄れる事業所であるよう様々な企画を考え実現させていきたいと考えています。

ケアセンター南大井
介護職　平井　鉄也



電子業界で設計業を10年務めた後、福祉業界へ転職し特別養護老人ホームにて17年勤め上げました。経験を活かした援助が出来ればと思います。よろしくお願いいたします。

ケアセンター南大井
介護職　髙橋　美里

老健2階に配属となりました、長野県出身の髙橋美里です。常に笑顔を心掛け、利用者の皆様に関わっていきたいと思います。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

ケアセンター南大井
介護職　大畑　智之

生まれも育ちも品川区です。自己の研鑽に励み、常にご利用者を想い、ご利用者に寄り添いながら介護福祉士としての責務を果たしたいと思っております。何卒宜しくお願い申し上げます。

ケアセンター南大井
介護職　若松　耕太

今年専門学校を卒業し、入職いたしました。利用者にいつまでも元気で過ごして頂きたいという気持ちを忘れずこの先何十年と働けるように努めていきたいと思っております。

ケアセンター南大井
看護職　小澤　かおる

12年振りに懐かしいさくら会に戻って参りました。12年の間に「介護を必要とする利用者の家族」を経験しました。今までの経験を活かして頑張ります。宜しくお願いします。

ケアセンター南大井
介護職　史　勤美

今年品川介護福祉専門学校を卒業しました。地域の皆様の笑顔の為、さくら会で楽しみを持ってもらえるように頑張りたいと思います。皆様を尊重して、丁寧な支援を心がけていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

ケアセンター南大井通所リハビリ
介護職　中居　小百合

昨年の9月から働かせて頂いております。利用者様のことを第一に考え、「あなたがいて良かった」と言われるような介護士を目指し、頑張っていきたいと思います。

ケアセンター南大井通所リハビリ
介護職　三戸　浩美

4月に入社し、早くも1か月が経ちました。先輩方が優しく指導をして下さるおかげで毎日楽しく仕事が出来ています。これからも日々勉強し、笑顔で仕事に励みたいと思いますので宜しくお願い致します。

月見橋在宅サービスセンター
介護職　奥山　静湖

月見橋在宅サービスセンターに配属されました奥山静湖です。ご利用者と楽しく、笑顔の絶えないように、特に月見橋は個別の対応が多いので、他職員と共にコミュニケーションをとりながらケアを行っていきます。

月見橋在宅サービスセンター
介護職　藤本　亜由美

藤本亜由美です。スタッフみんなで助け合いながら、ご利用者の気持ちに寄り添い、笑顔いっぱい思いやりのあるケアを提供できるよう努めていきます。よろしくお願いいたします。

便秘解消でお腹も心もすっきりと！

厚生労働省が行った調査によると、国民の10人に1人が便秘症で悩んでいるという結果が出ています。「何日以上出なければ便秘」との定義はなく、2～3日排便がなくとも便秘とは限りません。

「お腹が張って痛い」「残便感がある」などの不快な症状を伴った場合に便秘と言えますが、7日以上便通がなければ専門医を受診した方が良いでしょう。

便秘の原因として最も多いのはストレスや老化による腸管の動きが異常で、食事や運動による腸への刺激が大切になります。

・起床時は朝日を浴びてコップ一杯の水を飲む
・朝食をきちんと摂る―野菜、バナナ、リンゴ、乳製品がお勧め
・よく噛む―唾液が分泌し消化が良くなる
・習慣的な運動―簡単でも継続できる運動を見つける
・腹部マッサージ（おへそを中心に円を描くように時計回りにさする）も有効

我慢しないことが重要ですので、便意があった時は、トイレに行くようにしましょう。

理事・評議員の退任及び就任について

〈理　事〉
退任　髙林　正敏理事（前大井第一町会連合会長）
就任　有馬　紀久理事（大井第一町会連合会長）

〈評議員〉
退任　有馬　紀久評議員（大井第一町会連合会長）
就任　植松　好一郎評議員（南大井第四町会会長）

6月の定時評議員会終結の時を以て全役員（理事・監事）が改選となりました。退任されました髙林前大井第一町会連合会長様におかれましては開設当初、評議員として就任して頂いてから継続して理事の職を務めて頂き、長年に渡り、法人の運営に関する幾多のご助言を頂きました。これまでのご支援に心より感謝申し上げます。

新たに就任された方々におかれましては今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

ありがとうございました

平成30年度　ご寄付お礼

平成30年度、多くの皆様から温かいご支援をいただきました。さくら会の各事業に対し深いご理解、ご協力をいただき心より御礼申しあげます。

これからもさくら会職員一同、より一層努力してまいりますのでよろしくお願い申しあげます。

件数68件
金額700,400円

連載NO.11 ……専門職に聞く……

ケアセンター南大井
介護支援専門員／支援相談員　**五十嵐　正幸**

Q1：仕事の内容

介護老人保健施設は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰や在宅療養支援の強化を目指す施設です。支援相談員兼ケアマネージャーとして、ご本人、ご家族や関係機関と入退所の相談や、ご本人のこれからの生活について、一緒に考えていくことなど、支援や相談の業務をしています。

Q2：専門職として心掛けていること

どのように老人保健施設を利用すればいいのか、分かりやすく説明を行い、気軽に質問して頂けるように心掛けています。

Q3：ご利用者、読者に向けてメッセージ

ご本人、ご家族が抱えている不安や課題は、様々あると思います。

ケアセンター南大井は、医師、介護士、看護師、理学療法士及び作業療法士、栄養士、介護支援専門員などの職種がいます。

どのようなことでも構いませんので、ご相談ください。

次回10月号は「看護職」島村　小百合さんの登場です！

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。
〒140-0013　品川区南大井5―19―1
社会福祉法人さくら会　編集委員会　宛

次回の発行予定は、令和元年10月です。